

## 第四節 復帰後の諸事

(年) (主なきこと)

二十八 ○十二月二十五日 ダレス声明により奄美大島  
日本復帰。

重成知事・上田新支庁長来島。奄美返還式、大島  
支庁開庁式、午後から祝賀式典、夜提灯行列。  
全高校県立となる。(鹿児島県立沖永良部高  
等学校となる)

二十九 琉大大島分校を県立臨時教員養成所とする。

○二月 第三代町長に重村中久氏就任。

○二月十五日 衆議院議員選挙(奄美群島復帰  
に伴う暫定措置法に基づくもの)当選者なし。

○四月三十日 衆議院議員選挙(奄美群島区再  
選挙)。当選保岡武久氏。

○六月 奄美群島復興特別措置法公布。

三十 ○二月二十七日 衆議院議員選挙(第二十五

回)。奄美群島区定数一名、当選伊東隆治氏。

○四月 和泊港修築工事始まる。名瀬工事事務  
所沖永良部土木工事詰所が設置された。

三十一 ○五月一日 沖永良部バス運行開始。(沖永良  
部島一部事務組合)

・バス保有台数(昭和六十年四月現在)

大型六台・中型三台・小型一台

・バス運行(昭和六十年四月現在)

知名発和泊・空港行 平日十一本

日曜 八本

〃 新城経由和泊行 平日 七本

日曜 四本

〃 内城・伊延・和泊行 平日三本

日曜二本

三十二 ○四月 和泊一中、三中が統合して和泊中学校  
に、二中が城ヶ丘中学校になった。

三十三 ○二月 第四代町長に武田恵喜光氏当選。

○五月二十一日 衆議院議員選挙(第二十六

回)。奄美群島区定数一名、当選保岡武久氏。

三十四 ○七月 和泊小学校、現敷地に移転。九月役場

現在地に移転。(和泊小学校と役場入替)

三十五 ○十一月二十日 衆議院議員選挙(第二十七

回)。奄美群島区定員一名、当選保岡武久氏。

三十六 ○四月 国民健康保険事業始まる。町内全校完  
全給食実施。抛出制国民年金事業開始。

○七月 義宮様ご来島。

○八月 第一回港祭り実施。

三十七 ○一月 簡易水道給水開始、給水戸数四五七戸。

○二月 町長に武田恵喜光氏再選。

○十一月十二日 奄美興発株と共和産商株合併  
して、南栄糖業株設立。

三十八 ○七月 大旱魃かんばつがあり、農作物の被害と飲料水  
が枯渇した。知名町に昇竜洞発見される。

○十一月二十一日 衆議院議員選挙(第二十八

回)。奄美群島区伊東隆治氏当選。

三十九 ○四月 奄美大島群島振興特別措置法公布。

四十 ○六月 電気、昼夜送電なる。(従来は深夜四  
時間停電)

○七月 NHKテレビ塔完成。(大山に設置さ  
れる)

四十一 ○二月 町長に武田恵喜光氏三選。

○三月 瀬名一仁志間町道改良工事竣工。

○六月 名瀬土木出張所沖永良部工事詰所から  
沖永良部土木出張所へ昇格。

○七月 沖永良部空港着工。

○十月 交通安全町宣言。

四十二 ○一月二十九日 衆議院議員選挙(第二十九  
回)。奄美群島区伊東隆治氏当選。

四十三 ○一月 明治百年事業として町章・町民歌・町  
民憲章が制定された。

○四月一日 沖永良部バス―「沖永良部島一部  
事務組合」を「沖永良部バス企業団」と改称。

○五月十二日 衆議院議員選挙(第三十回) 奄  
美群島区補欠選挙保岡武久氏当選。

四十四 ○三月 農業構造改善事業、玉城・国頭地区ほ  
場整備六三・七ヘクタール竣工。

○四月 奄美群島振興特別措置法改定延長。

○五月 沖永良部空港開港。大阪航空局沖永良  
部空港出張所設置。

沖永良部測候所沖永良部空港出張所設置。

○九月 和泊町奨学資金貸付制度発足。

○十二月二十七日 衆議院議員選挙(三十一  
回)。奄美群島区当選豊栄光氏。

四十五 ○二月 町長に武田恵喜光氏四選。

○四月 和泊町総合振興計画を策定。

○「沖永良部観光と物産展」鹿児島市山形屋、テ  
パートで開催。

○七月 和泊港に、はじめて千五百トン級(あ  
まみ丸) 船舶が接岸。

○九月 県営ほ場整備事業(二百ヘクタール)  
第一年度事業開始。

四十六 ○一月 ミカンコミ、バエ防除事業はじまる。

○二月 地域集団電話開通。

○四月 過疎地域振興計画策定。

○県営畑地帯総合土地改良事業、和泊地区(二  
百八十八ヘクタール)の事業開始。

○九月 和泊港背後地埋立工事着工。

○十二月 町より敬老年金が支給された。

四十七 ○三月 空港―知名間県道舗装工事完成。

○四月 給食センターが完成し、運営開始された。

○県営畑地帯総合土地改良事業仁志地区(二百  
五十ヘクタール)事業開始。

○七月 農業振興地域の指定を受ける。

○十二月 大島地区総合社会教育研究会が開催  
された。

○十二月十日 衆議院議員選挙(三十二回)。  
奄美群島区当選保岡興治氏。

四十八 ○三月 「老人いこいの家」完成。

○和泊港背後地埋立工事竣工。

○五月十三日 国頭小学校に「汐ほす母の像」  
完成除幕式。

○八月 きび価格大幅引き上げ総決起大会開く。

○十月 大型陳情団上京。  
運動の成果は次表のとおり着実に伸びた。

農業手取価格の推移

年度	価格 (円)	上げ幅 (%)
48	10,000	43.9
49	15,000	50.0
50	16,100	7.3
51	17,100	6.2
52	18,370	7.4
53	18,730	1.9
54	19,350	3.3
55	20,820	7.6
56	21,410	2.8
57	21,450	0.2

○十一月 沖永良部島電報電話局開局ダイヤル  
式通話開始。

四十九 ○十一月 三千トン級船舶「ひかり」和泊港に  
初接岸。

○二月 町長に武田恵喜光氏五選。

○四月 五千三百トン級船舶「神戸丸」和泊港  
に初接岸。

○五月 鹿児島銀行沖永良部支店強盗事件。

○八月 六千四百トン級船舶「クインコーラル」  
和泊港に初接岸。

五十 ○四月 和泊保育所完成。

○六月 七千トン級船舶「クインコーラル2」  
和泊港に初接岸。

○八月 第29回県民体育大会第16回大島地区  
大会(本町にて)。

○九月 四千百トン級船舶「エメラルドあまみ」  
初就航。

○十一月 鹿児島県知事と町民と語る会(老人  
いこいの家にて)。

五十一 ○二月 農業後継者育成大会。フリージア娘N

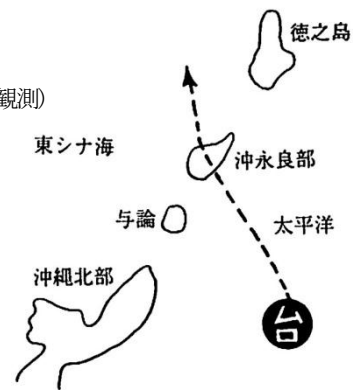
### 沖永良部台風

昭和52年(1977)9月9日午後10時ごろ

気圧	907.3	ミリバール	} (大山自衛隊の観測)
風速	60.4	m	
瞬間最大風速	80	m	
雨量	179	ミリ	

### 台風のひがい

両町	5472	世帯のうち	} 4377戸 80%のひがい
全壊家屋	1291	戸	
半壊家屋	1358	戸	
一部損壊	1728	戸	
重軽傷者	133	名	
被害総額	155億7300	万円	



HKスタジオ102に出演。

○八月十七日 町民体育館着工。

○九月 特別養護老人ホーム(しらゆりの園)着工(19日)。

○越山焼却炉着工(24日)。

○十一月 和泊港待合所完成。

○十二月五日 衆議院議員選挙(三十三回)。

奄美群島区当選保岡興治氏。

○十二月 沖永良部空港に自衛隊ジェット機初着陸。

五十二 ○三月 和泊町民体育館完成。東京フィルハーモニー吹奏楽団公演。

○九月九日 沖永良部台風来襲し全島に壊滅的な被害を及ぼす。

○十二月 西郷南洲没後百周年記念行事を行う。

五十三 ○二月 町長に武田恵喜光氏六選。

五十四 ○八月 西郷南洲像建立(南洲神社境内)。

○三月 民放テレビ開局。

○四月 伊延港改修工事着工。

○八月 沖縄航空路開設。

○十月七日 衆議院議員選挙(三十五回)。奄美群島区当選保岡興治氏。

五十五 ○五月 町制施行四十周年記念式典。農村情報無線開局。町花「テッポウユリ」町木「ガジュマル」指定。「教育の町」「交通安全の町」宣言。ミカンコミバエ絶滅に伴う甘きつ類移出解禁。

○十二月 戦没者慰霊塔建立(越山頂上)。

五十六 ○三月 沖永良部花卉センター完成。第一回「フリーズアフエステイブル」開催。

○四月 鎌田知事との「車座対話」。

○七月 五千トン級船舶「あかつき」初就航。

○八月 第三十五回県民体育大会第二十二回大島地区大会開催。

○十一月 初の土曜夜市開催。

五十七 ○一月 町長に武田恵喜光氏七選。

○二月 高千穂神社で奄美群島地区植樹祭開催。

○三月 第一回「フリーズアジョギング大会」

○参考資料 1 郷土史年表 2 和泊町勢要覧 3 知名町誌 4 藤原南風著「新奄美史」「奄美のきび戦争」

(付) 鹿児島地方事務局和泊出張所の沿革

年	月	日	事項
明治一八	七	一	大島郡和泊町和泊字東風平五七九番地に大島区裁判所和泊出張所として開庁。
明治四四	一	一	(管轄) 大島郡の内、和泊村・知名村。庁名を大島区裁判所沖永良部出張所と改称。
大正二一	四	九	大島郡和泊村字石川平一二番地の二(現在地)に事務所移転。
大正二一	二	一	管内を分轄し知名村を管轄する知名出張所新設に伴い管轄変更。
昭和一九	四	二二	(管轄) 大島郡の内、和泊村。知名出張所を合併により管轄変更。
昭和二三	一	一	(管轄) 大島郡の内、和泊町・知名村。知名出張所開庁に伴い管轄変更。

昭和二八	一二	二五	日本復帰により鹿児島地方事務局和泊出張所と改称。
昭和二三	七	一	倉庫改築。鉄筋コンクリート造陸屋根平屋建、床面積二五・二八平方メートル。
昭和四〇	三	一八	町費支弁による庁舎新築。ブロック造銅板平家健事務所・居宅、床面積二二九・六平方メートル。
昭和五一	三	一八	旧和泊合同庁舎との交換により昭和五一年三月五日庁舎、敷地共に大蔵省へ所有権移転。
昭和五一	三	一八	法務省へ所管換。
昭和五一	三	一八	屋根葺替工事。
昭和五一	三	一八	工費 金五〇万円
昭和五一	九	九	台風九号による被害。
昭和五一	九	二二	復旧工事着工、同一〇月一八日完工。工費 金百拾壹万九千四拾円。